

情報提供

1) 大和川の河川整備について

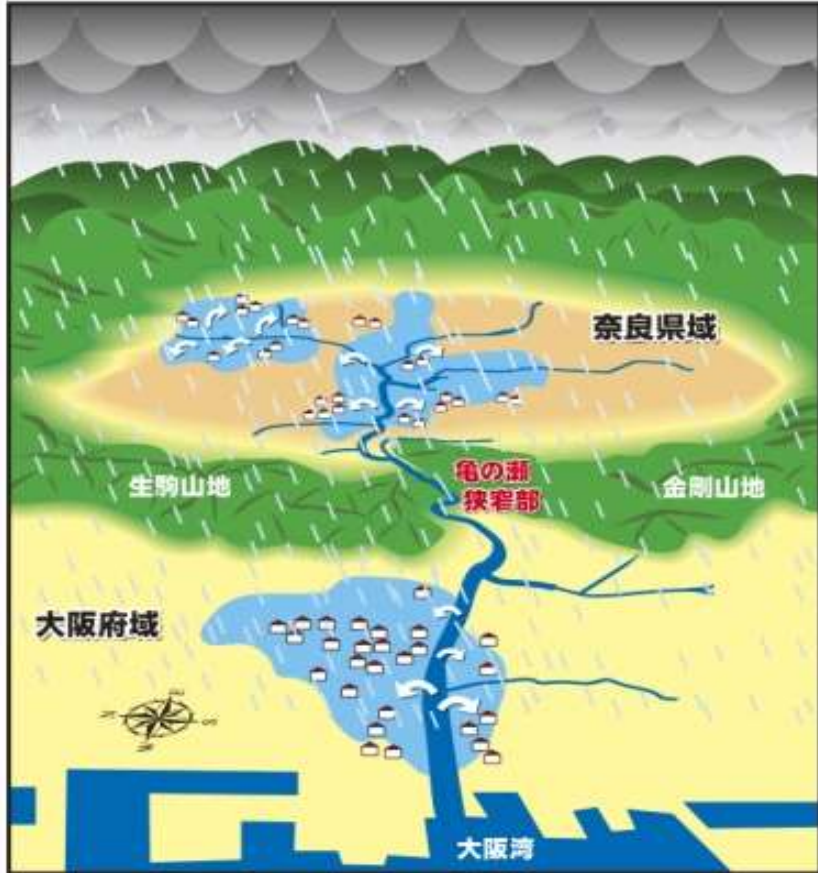
平成29年2月17日

大和川流域総合治水対策協議会

大和川の河川整備について

大和川の上下流バランスのイメージ

大雨が降ると・・・



上流部から整備すると



上流部の氾濫がなくなる

下流部の被害が大きくなる

下流部から整備すると



上流部の被害軽減に時間がかかる

下流部の被害がなくなる

河道の掘削、築堤、橋梁架替等

上流部(奈良県)や下流部(大阪府)では氾濫する危険性がある

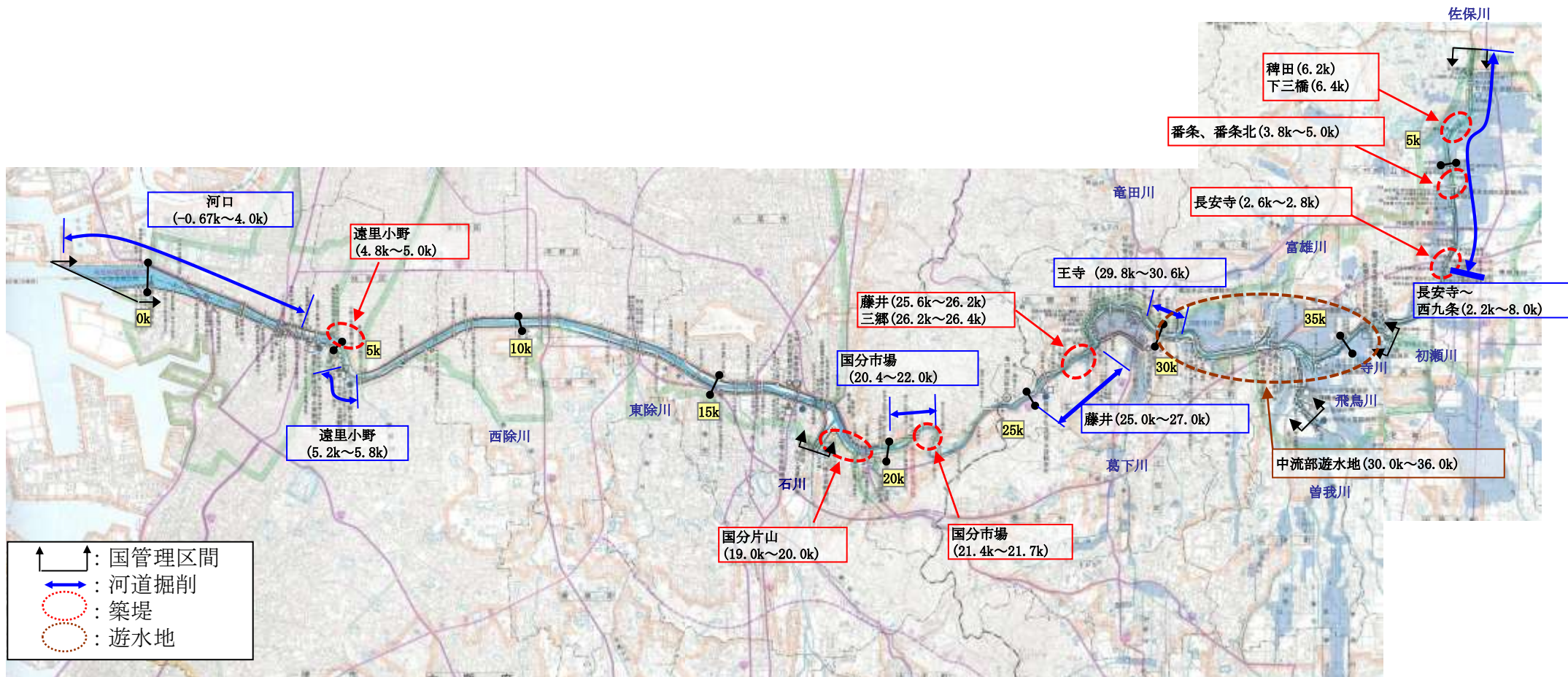
上下流の治水安全度を早期にバランスよく向上させるため、亀の瀬狭窄部での開削又はバイパストンネルの整備を行わず、

- ・上流部(奈良県)では、流域対策や洪水調節施設等の整備
- ・下流部(大阪府)では、河道掘削・堤防等の整備

を行うこととした。

大和川の河川整備について

- ・ 下流部（大阪府域）では、河道掘削・堤防等の整備を実施。
- ・ 中上流部（奈良県域）では、築堤や河道掘削の他、遊水地の整備を実施。



遊水地予定地

総洪水調節容量が概ね100万m³の遊水地を中流部の大和川本川沿い（30k～36k）に整備する

